

問寒別地区「地域づくりビジョン」の概要

1. 地域づくりビジョン策定の目的

- 問寒別地区は、明治の入植以来、軟弱な土壌や気候災害にもめげず、住民の団結力で、それぞれの時代で農業、鉱業、林業など独自の伝統文化とともに地域を切り拓き、築き上げてきましたが、近年は若年層を中心に人口が流出するなど、少子高齢化、小家族化が進み、地域や集落の活力や担い手が不足してきています。
- これまで、幌延町では、地域おこし協力隊の活動、住民懇談会、各種団体懇談、住民・事業者ヒアリング、アンケートなどを通して、地域の現状把握を進めつつ、住みやすい暮らしに向けた実験的取組も実施してきました。
- そこで、地域全体で協力して地域を守り育て、いつまでも暮らし続けられる持続的な地域集落づくりを進めるため、自分たちが地域に対して願うことを自らで考え、問寒別地区のあるべき姿「地域づくりビジョン」を策定します。

2. 地域づくりビジョンの役割

- 問寒別地区「地域づくりビジョン」は、問寒別地区の将来像を総合的に示すもので、地域づくりの方向性を共有するとともに、地域全体の歩むべき共通の指針とするものです。

3. 地域づくりビジョン策定の流れ（別紙）

- 問寒別地区の住民、各種団体、事業者、行政機関などとともに「地域づくりビジョン審議会」を開催し、「地域づくりビジョン」策定を進めます。(①)
- また、策定にあたっては、住民の皆さまの幅広いご意見を聞くために、地区住民などを対象とした住民懇談会（といかん本音トーク）などを開催しながら、地域全体での将来像の共有、意識醸成、合意形成を進めます。(②)
- 役場内に、全庁横断的な14名の職員からなるプロジェクトチームを立ち上げ、地域を応援・連携する仕組みを考え、住民懇談会などで一緒に検討することがあります。(③)

4. 地域全体で考えたいこと

- 地域一丸となって目指す地域の理念、目標、方針を定め、それを達成するために必要な仕組み（組織）、制度、空間、担い手、資金などを考えます。

5. 地域づくりビジョンの体系

●今の地域を皆で共有し、地域の将来像の実現に向け、目標を持って取り組みます。

地域資源・現状把握・課題共有



将来像



《問寒別は、こうでありたい！！》
(一番の願い、スローガン、テーマ、大目標)

将来像を実現するための基本計画

方向性・分野	具体的な仕組み・取組・時期
(1)	①仕組み ②取組 ③ハード
(2)	① ②
(3)	① ②
(4)	① ②
(例えば…) 繋がり、支え合い、 温もり、担い手、産 業、環境(仕事、住 宅)、移住、安心、 暮らし、生きがい、 資源、チャレンジ	...

計画の
推進体制

- ①運営の仕組み
- ②拠点
- ③施設
- ④資金
- ...